



みなみの風

あいさつ・つたえあい・チャレンジが自慢
～優しい言葉があふれる坂下南小学校～

「自分で学習や生活を改善する力(自己マネジメント力)」を育てる

「①自分を知り→②計画し→③実行し→④確かめ→⑤見直す」 この、社会で生きて働く力を高めることを目的として、本校では「家庭学習」の指導のあり方について研究しています。25日(水)には、家庭学習とのつながりを意識した授業研究を行いました。2年生の道徳で、家庭学習であらかじめ生活経験を振り返らせておくことで、授業の中での振り返りの時間を確保したり、家に帰った後にも授業を振り返る時間を設けることで、授業のねらいとする価値を深めたりすることができました。

家庭学習という点で、ご家庭との連携が不可欠です。子ども達の「自己マネジメント力」を高めるため、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



グループで登場人物になりきって役割演技をしたり(写真左)、役割演技の様子を発表し合ったり(写真右)しながら考え振り返る時間がたくさん取れました。

＜授業のまとめ＞
いじわるをしないでだれとでも
なかよくあそぶ



＜家庭学習での振り返り＞ 日常生活と結びつけたり、自分の言葉で表現したりして、考えが深まりました。

- ・ (とどちが) サッカーが(にがで)できないときも、(いっしょに)遊ぶのが大切。
- ・ 友だちがいれば楽しく遊べる。友だちを大切にします。

＜研究授業フォトギャラリー(2年1組)＞



「よい目・よい耳」で聞き、美しい生き方について真剣に考えていました。



「自分の考えを持つ力・自分を表現する力」が育っています。



目指す児童像「つながりながら学ぶ子」の姿がたくさん見られました。

新型コロナウイルス情報

「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」が変更され、マスク着用の考え方が改めて追加されましたが、現在、学校の指針となる「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に示された内容に変更はありません。これまで通り、活動内容や児童の様子を踏まえながら臨機応変に対応していきます。

- 体育の授業ではマスクを外す。ただし、十分な身体的距離が取れない状況で、十分な呼吸ができなくなるリスクや熱中症になるリスクがない場合には、マスクをつける。
- 気温・湿度や暑さ指数が高い日の登下校時や外遊びでは、十分な距離を保ったり会話を控えたりしながらマスクを外す。 ※ バスの中ではマスクをつける。
- 児童本人が暑さで息苦しいと感じた時などには、マスクを外したり、一時的に片耳だけかけて呼吸したりするなど、自身の判断でも適切に対応できるように指導する。